

アワードを楽しもう

JA3DBD 宮本 荘一 *Souichi Miyamoto*

アワードは自分がこれまで交信してきた実績を形として表現してくれます。また、アワードの取得を目指せば、交信する目標を持つことができます。アマチュア無線を息永く楽しむために、アワードに挑戦してみませんか。

8-1 アワードを楽しんでみませんか

8-1-1 アマチュア無線の世界へようこそ

以前、学校の同窓会の自己紹介で「私は趣味でアマチュア無線をやっています」と言うと、「ああ、車にアンテナを付けて走っているアレですね。走りながら連絡が取れて便利でしょうね」とよく返答されたものです。あれから20年近く経ち、世間はすっかり変わりました。

「便利」なアマチュア無線はその主役の座を携帯電話に譲り、「便利」なものとして使っていた人はどんどんアマチュア無線を辞めていきました。その結果、一時は200万人近くいた日本のアマチュア無線人口は、今では約50万人ほどに減少してしまいました。それにつれて、アマチュア無線を楽しむ人の年齢構成も大きく変わり、以前は10代にあったピークが、ずいぶんと高い層へ移ってしまいました。

ではアマチュア無線は面白くなくなったのでしょうか？ 通信手段としての便利さなら、免許もいらず買えばすぐに使える携帯電話に分があります。また技術面では、パソコンやロボットに代表される、コンピュータの世界が中学生や高校生の夢を受け入れる場所となっています。

しかし、アマチュア無線は健在です。一時より局数こそ少なくなりましたが、その魅力は色褪せていません。マイクを握りあるいは電鍵を叩いてCQを出せば、世界中のどこから呼ばれるか分からないというスリルは、匿名が横行するインターネットの世界とは違った、リアルな世界が楽しめます。

8-1-2 目標を持ってアマチュア無線を楽しみましょう

アマチュア無線を長い間続けていると時としてマンネリに陥り、何か刺激が必要な場合があります。そんなときは、何か目標を持ってみてはいかがでしょうか。

一定期間にたくさんの局と交信したいと思えば、毎週のように開催されているコンテストに参加すればいいでしょう。もっと進んで、日本の全エリアと交信するとか、全都道府県と交信することを目標にするのもいいでしょう。それが達成できたときには、成果を証明してくれる「アワード(証明書)」が取得できます。このアワードを集めることが、アマチュア無線の楽しみの一つとなるかもしれません。